



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

南相馬市公民館訪問・社会教育研修会（8/31）

公民館訪問

「生涯学習教室・学級等各種講座における新規参加者の確保」

～新規利用促進に向けたアイデア協議～

公民館講座では、参加者の高齢化やメンバーの固定化により、若い現役世代や新たなシニア層が参加しづらいという共通の課題があります。

そこで今回の研修会では、「なぜ新規参加者は一歩踏み出しにくいのか」をテーマにグループ協議を行いました。付箋を使って参加者目線で課題を書き出し、各班で「共通する一番の課題」を 1 つに絞り込んだうえで、明日から試せる解決策を話し合いました。その協議結果をご紹介します。

なぜ新規参加者は一歩踏み出しにくいのか？

参加者側に時間の余裕がない

- 途中参加・途中退席 OK の講座設定をする。
- オンライン（YouTube 等）配信を活用し、自宅、好きな時間に気軽に受講できるようにする。

そもそも企画や内容に興味がない

- 若い世代が親しみやすいテーマの企画。（ゲーム、スポーツなど）
- イベント企画段階から若者を巻き込む。

情報が届いていない

- 市民が自分に合った講座をいつでも検索・発見できる Web 仕組みづくりをする。
- 夜間・休日開催や単発講座など、開催時間帯の見直しをする。

ニーズの不一致

- 日常のかかわりや交流スペースを通じて若者から直接ニーズを聞きとる。
- 「学びの提供」にとどまらず、学びを通じた人とのつながりや居場所の創出をする。



今回は浪江町から 2 名富岡町から 2 名参加していただき、充実した協議を行うことができました。ありがとうございました。

来ない人の「一歩の踏み出しにくさ」に目を向け、原因を住民の意識ではなく「自分たちの見せ方や受け入れ方」として捉え直すこと——それこそが現状を破るスタートラインです。

課題を正面から言葉にして話し合えたこと自体に大きな価値があります。活発なご協議をいただき、ありがとうございました。



「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」

～地域みんなのウェルビーイングの向上を目指して～

南相馬市では、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」に積極的に取り組んでいます。この活動をさらに充実させ、持続可能なものとして発展させるため、本研修会を開催いたしました。

研修では、これまでの協働活動をさらに充実させ、現場でかかわる人たちの思いや努力がより報われるための「助け」としてコミュニティ・スクール(CS)の考え方をどう生かすかを学び合いました。

【よくある地域学校協働活動の課題】

- 本来は子どもたちの成長や地域づくりのための活動が、「毎年やっているから」「依頼されたから」という理由が優先されてしまい、やりがいを感じにくくなる。
- 「学校からのお願い」を受け止める形になりやすいため、熱心な一部のボランティアやコーディネーターに負担が偏ってしまう。
- 地域がよかれと思って企画した活動が、学校側の授業計画や求める内容と噛み合わず、双方が気を遣いすぎてしまう。



文部科学省 総合教育政策局
CSマイスター 安齋 宏之 氏

地域では...

学校では...



【コミュニティ・スクール(CS)】＝「相談・すり合わせの場」

- ・学校と地域、双方にとって価値のある目標を共有する
- ・学校と地域が連携して解決すべき課題を共有する

【地域学校協働活動にCSの要素を取り入れると...】

- 「学校から頼まれたから手伝う」のではなく、CSで「こんな子どもを育てよう」と事前に共通目標をもつことで、地域も主体的にアイデアを出し合える対等な関係になれる。
- 「先生が今何に困っているか」「地域の防災で何が必要か」を対話(熟議)を通じて知ることによって、地域は「本当に求められている支援」に絞って協力できるようになり、無駄な負担が減る。
- 活動のあとに「子どもたちにどんな変化があったか」をCSの場で一緒に振り返ることで、活動の意義を確認でき、次への活力や「大人の学び・達成感」につながる。



コミュニティ・スクール(CS)の本質とは、何か新しい組織を急に作ることでなく、「地域と学校が同じ目線で話し合い、目指す方向をそろえる場(対話)をもつこと」そのもの。

南相馬市で育んできた地域学校協働活動の成果を受け継ぎ、学校と地域が語り合う「CS(話し合いの場)」のよさを取り入れることが、現場を支え、子どもたちの未来を育む一番の近道となります。

学校と地域で小さな対話を重ねながら目標を共有し、誰もが無理なく楽しく協力し合える、あたたかい地域をみんなで育てていきましょう!

